

「2018年度 VE等施工改善事例発表会（大阪）」の開催について

平素は、日建連の事業等の推進についてはご配慮を賜り、厚く御礼申し上げます。

建設業界は、技能労働者の高齢化による大量離職時代を乗り切るため、若者を中心とした新規入職者の確保と生産性向上による大幅な省人化が大きな課題となっています。また、働き方改革、週休二日制の推進に向けて、それに伴う工期の延伸やコストアップを抑えるためにも、生産性の向上を図ることが不可欠となっています。このため建築生産の現場では、VEの検討や様々な施工改善に取り組んでおります。

日建連としては、このような施工改善の取り組みを、各社間の垣根を越えて、施工技術伝承の観点からも、幅広く関係者に伝え、建築現場の今を発信することが意義のあることと考え、VE事例はもとより、幅広い施工改善事例を発表対象とする、業界横断的な唯一の場として、「VE等施工改善事例発表会」を開催しています。

発表される事例は、それぞれに実際のプロジェクトで成果を上げた事例となっています。

本発表会を、施工課題の着目点・施工改善のヒントの把握や施工改善の実効向上、生産性の向上、ひいては、建築物の価値向上に繋げる良い機会にして頂きたい、関係者多数のご出席をお待ちしております。

(2017年度VE等施工改善事例発表会テキストは日建連HPからご覧いただけます。

<https://www.nikkenren.com/publication/detail.html?ci=286>)

記

1. 開催日時；2019年1月31日（木）13:00～16:10予定（受付開始；12:30）
2. 会場；新大阪丸ビル別館10-1会議室（定員370名）
大阪市東淀川区東中島1-18-22 丸ビル別館10階
TEL 06-6325-1302
3. 主催；一般社団法人日本建設業連合会
4. 後援；一般財団法人 建築コスト管理システム研究所
（順不同） 公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会
5. 対象；建物所有者、行政関係者、学校関係者、設計者、建設会社関係者

6. プログラム (敬称略・順不同)

時 間	テ ー マ	講 師
13:00~13:05	開会挨拶	(一社)日本建設業連合会 専務理事 菱田 一
13:05~13:45 (40分)	講演 「VEは誰のものか」	芝浦工業大学 建築学部 建築学科 教授 志手 一哉
13:45~14:39 (18×3、54分)	事例発表 (前半3題) ・ICT建機による省力化と安全性の確保 ・中間層免震における施工手順及び精度管理 方法の改善 ・急勾配屋根における鉄骨建て方と屋根施工 の工夫	熊谷組 吉田 圭志郎 竹中工務店 福田 義広 西松建設 尾形 和広
14:39~14:55	休 憩	
14:55~16:07 (18×4、72分)	事例発表 (後半4題 予定) ・重量物水平移動方法の改善 ・化粧打ち放しコンクリート仕上げに用いる 型枠の改良 ・仕上材のデザイン変更による生産性向上 ・他 未定	大成建設 三澤 元昭 鴻池組 池上 信太郎 松井建設 竜見 尚一

7. 当日配布資料 ; 「2018年度 VE等施工改善事例発表会資料」 A4版

8. 「建築CPD情報提供制度」について

本講習会は、(公財)建築技術教育普及センターが運営する「建築CPD情報提供制度」認定プログラムです。

同制度の単位登録申請をご希望の方は、当日会場で「CPD登録記入名簿」に「建設CPD情報提供制度参加者ID」または「一級建築士登録番号」と氏名をご記入ください。

9. 申し込み方法

下記 URL でのお申込みとなります。入場は無料です。

<https://business.form-mailer.jp/fms/c9a22f0095415>

お申し込み後、折り返し、参加券を e-mail にて返信いたします。
参加券は、プリントアウトいただき、当日ご持参ください。

10. 申込期日

定員となり次第締め切りとさせていただきます。

開催日間際にお申込みの場合は事前にご確認下さい。

なお、多数のお申し込みが予想されるため、お申し込み後のキャンセルはご遠慮ください。

やむを得ずキャンセルされる場合は、お早めにご連絡願います。

本件に関する問い合わせ先

(一社) 日本建設業連合会 建築部 正田

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-5-1 東京建設会館 8階

TEL:03-3551-1118 FAX:03-3555-2463

e-mail:shoda@nikkenren.or.jp